

シンテックが「Cosmosコンテンツセミナー」開催

世界初となるWebコンテンツサービスを提案。セミナーを通じてユーザーと意見交換

汎用CAD「FUTURE」などを開発・販売しているシンテック（山口県熊毛郡田布施町麻郷奥90、Tel.0820-52-5230）は、26～28日の3日間、同社東京事務所（千代田区九段北4-3-7北九段ビル）で「Cosmosコンテンツセミナー」を開催した。セミナーは1日3回、3日間で、計9回行われ、延べ76名が参加した。

コンテンツセミナーは、古田和實氏（シンテック第2事業部技術営業課部長）が「Cosmosコンテンツサービス」の概要と説明を行った後、今後の要望や意見を話し合うディスカッションが行われた。セットバックについては蒲生勲氏（イサオプランニング）がサポートした。

「Cosmosコンテンツサービス」は、1日の使用料100円で、ファブの鉄骨専用CADをサポート、設計事務所の業務支援を行う新しいWebコンテンツサービス。Cosmosはブラウザ（インターネットの閲覧ソフト）で、dxf、dwg、jww、sfxなど主な汎用CADの変換機能が標準装備されている。また、IE（インターネット・エクスプローラー）と同じ使い方ができ、AutoCADで描かれたdwg、dxfデータは寸法として読み込める（今後、jwwも寸法属性の認識を可能にする予定）。Web上でコンテンツを開いて描くというスタイルで、設計図（階段、手すり、デッキプレート）の割り付けなどをクリックすることで寸法を出すことができる。入力を少なくするために、コンテンツをぶら下げる方式を採用。現状では、建築、土木、製缶のジャンルがあるが、そのジャンルの中にカテゴリーがあり、その中にコンテンツが設けられている。このコンテンツの項目から必要な作業を

選択し、使用する。今後、ユーザーの要望に対応し、コンテンツを随時追加していく方針で、新着情報、お知らせなどはシンテックのHP（<http://www.shintech.co.jp/>）に掲載していく。

shintech.co.jp/）に掲載していく。

セミナーは宮城、仙台、福島、長崎、福岡、沖縄で開催され、さらに今後、全国規模で開催することになっている。



あいさつをする古田和實氏



サポート担当の蒲生勲氏（写真左）



セミナーのもよう

